



神崎市議会だより

あやとり

書道!!



応援旗!!



神崎市役所 1 階ロビーにて、
SAGA2024国スポ・全障スポに
向けて作成した、市内中学校・
高等学校・福祉センターの作品
を展示しています。



ちぎり絵!!

6月定例会

8月定例会は8月28日開会予定です。



議会が可決したのはどんな予算？



おもな補正予算を紹介します

6月定例会の補正予算総額 9億4,684万円

6月定例会は、令和6年6月7日から6月28日までの22日間開かれ、一般質問に13人が登壇し、神崎市政全般について質疑を行いました。補正第2号で3億5,659万7千円を追加、補正第3号で5億9,024万3千円を追加し、総額224億5,723万円となりました。市単独の財源予算をいくつか掲載します。

議会運営の効率化を！

○議会ICT化推進事業 535万7千円（一般財源）

議会会議にタブレット端末と電子データを用いた会議システムを導入し、資料の保存・管理の効率化とペーパーレス会議の推進をする。また、各種資料をデータ化し、クラウド上で管理することで、リアルタイムに情報共有・資料の閲覧などを行い、議会運営の効率化を目指す。

神崎市信頼回復 PR 事業

○神崎市信頼回復PR事業 532万2千円（一般財源）

令和5年度における前市長の逮捕・起訴を受け、市のふるさと納税寄附額は減少している状況である。ふるさと納税は、今後実施する事業の重要な財源となるため、早急な信頼回復を図ることを目的にPR事業を実施する。国民スポーツ大会などのイベントでの返礼品のサンプル配布や、事業者応援フェアなどを計画している。

おもな質疑

Q 寄附額の減少が続く非常に厳しい状況の中で、本事業で信頼回復を図るとのことであるが、その見通しは。

A この事業だけで信頼が回復できるとは考えていない。ふるさと納税だけではなく、職員一丸となって様々な信頼回復に向けた取り組みを一步一步やっていかなければならない。



▲イベント等で配布予定のサンプル品（お米）

森林業担い手不足解消！

○林業事業体雇用支援補助金 474 万円（森林環境譲与税基金）

国産材の価格長期低迷や厳しい労働条件等の要因により、林業の担い手不足が課題となっている。この状況を打破するため、林業事業体に対し、新規雇用者の拡充と技術向上を促進する。



和の杜周辺の環境整備

○北部丘陵土砂採取場跡地利活用事業 1,100 万円（ふるさと寄附金基金）

北部丘陵土砂採取場跡地について、「和の杜」敷地以外の跡地利活用計画策定のための協議・検討を行うとともに、用地取得に向けた地権者交渉を継続して、早期の利活用策の実現及び防災対策の実施を図る。

今回の補正では、当該地の防災上の課題を抽出する基礎調査を実施する経費を計上。

心に夢を！風景に花を！

○花のある風景整備事業 319万6千円（ふるさと寄附金基金）

神崎市をPRするために駅北口の一角に年2回、花（菜の花・コスモス）の作付を行い、神崎市のイメージアップ及び観光客の誘導を図り、市の活性化に努める。

おもな質疑

Q この事業は毎年行われているが、市のイメージアップ・観光客を呼び込む目的ならば、写真撮影会・農産物直売会等できないのか。

A 駅北口には、元々直売所があったので、商工会、商工観光課、農政水産課で協議しながら農産物等販売できるように考えている。



▲神崎駅前のコスモス

予算特別委員会の Q & A

補正予算の審議について、質疑を抜粋して紹介します。

飼い主のいない猫の避妊去勢手術費補助金 100万円

（事業の目的）

動物の愛護及び管理に関する法律の趣旨に基づき、動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害並びに生活環境の保全上の支障を防止し、もって人と動物の共生する社会の実現を図るため、飼い主のいない猫を原因とする生活環境被害を軽減することを目的とする。

Q 飼い主のいない猫が原因で、どのような被害の情報が寄せられているのか。

A 市内の猫による被害の相談または苦情内容については、ふん尿等の被害、飼い主のいない野良猫に対する餌やりにより猫が居座る、また、車へのひっかき傷などの相談が寄せられている。

Q 避妊去勢手術は、届け出を提出した団体が直接動物病院へ連れて行き処置をするのか、あるいは、ある程度捕獲した段階で連れて行くのか、手術を行う流れはどうなっているのか。

A 事前に活動団体として市に登録された団体が、飼い主のいない猫を保護し、その都度、動物病院へ連れていき、手術を行う。
補助金は、事前の申請に基づき、実績に応じて活動団体に支払う形になる。



コミュニティ助成事業 420万円

（事業の目的）

本事業は、一般財団法人 自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施するもので、集会施設やコミュニティ活動備品の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり及び地域文化への支援等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

Q

本事業内容は、脊振町、神埼町、千代田町それぞれに周知徹底されているか。また、申請手続きや書類作成に伴う説明やサポートはどの様にしているか。

A

本事業は、例年 7 月の各町の区長会の場にて説明している。申請に要する書類は必要最小限に抑えており、申請書の様式に記載例も添付し分かりやすくしている。また、事業の相談や問合せ、書類の書き方に関する説明など、申請に関する全体的なサポートを行っている。

神埼の偉人魅力発信事業（漫画制作） 165万 2 千円

（事業の目的）

第 2 次神崎市総合計画の基本理念 2、「“幸せ” あふれるまちの魅力・誇りづくり」に基づく取り組みとして、伊東玄朴、下村湖人、徳川権七、吉田絃二郎といった神埼の偉人たちとその偉業を描いた漫画を制作し、市民には神埼を誇りに思う気持ち、市外の方には神埼への興味関心を高めてもらうことを目的とする。



▲制作した漫画（伊東玄朴）

Q

神埼偉人の発信事業の一環として、下村湖人に関するのシンポジウムを中央公民館で行うとあるが、下村湖人は千代田町出身であるため、はんぎーホールでの開催は検討できないか。

A

シンポジウムについては、はんぎーホールでの開催というのも検討の一つになる。

常任委員会の Q & A



各常任委員会での審議について、質疑を抜粋して紹介します。

総務常任委員会

総務常任委員会では、条例案件 1 件、その他案件 3 件について審議を行いました。

議案第 41 号：市営住宅姉団地建築工事請負契約の締結について（全員賛成）

Q

入札結果表によると入札に参加した会社が全部で 3 社あり、そのうち 1 社が書類不備による失格とのことであるが、入札の在り方としてそのようなことがあってはいけないと考えるが執行部の対応は。

A

この件は、1 枚の書類の失念であり、法に触れるような不正行為ではないことから、指名停止委員会に諮ることはしていない。仮に、度々の失格や、市に何の申し入れもないまま入札会に来ない等の行為が続く場合には、検討した上で指名停止委員会に諮るという事務の流れをとることになる。

議案第 46 号：神崎市防災行政無線設備更新工事請負契約の締結について（全員賛成）

Q

契約を締結した会社は、プロポーザル方式で提案された 5 社の中から選ばれた訳であるが、どのような基準でどのような評価により採用されたのか。

A

大きな基準としては、技術提案、施工、保守、金額などの項目があり、他社と比べ、防災無線システムの操作性、災害対策本部の運営に伴う現場情報、写真、位置情報などの集約方法、佐賀広域消防との連携、拡声子局（スピーカー）の機能や整備体制、避難所出入口の鍵を保管してある保管箱を遠隔操作で開ける等の技術提案に関する評価が高かったことから採用された。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、条例案件 3 件、その他案件 1 件について審議を行いました。

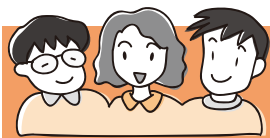
議案第 37 号：神崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について（全員賛成）

Q

改正内容に、「運営規定や職員の勤務体制などについてインターネットを利用して閲覧することを義務付ける」とあるが、情報共有化のため、インターネットを使って外部から見ることはできるのか。

A

元々保育園の掲示板で常に見れるようにしていたが、改正により保護者が常に見える状態にする必要があることから、インターネット上で掲示内容が見えるようにする。



賛否があった議案・意見書を紹介します。

議案第40号

議案名：佐賀県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

議案番号	議決結果	野副芳昭	平山文也	吉田守	大野秋人	末次勝	増田紀之	徳川博人	副島英樹	服巻玉美	中野均	野口英樹	白石昌利	原口ひさよ	田原和幸	木原憲治	永沼彰	福田清道	佐藤知美
議案第40号	賛成多数		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

野副芳昭議員は議長のため採決に加わっていません。

反対 討論 佐藤 知美 議員

広域連合の規約の変更について、令和 6 年 12 月 2 日以降、現行の被保険者証が廃止されることに伴い、「被保険者証及び資格証明書」を「資格確認書」に改める内容になっています。

これは、ただ単に規約の変更にとどまらず、政府の国保を始めとして健康保険証を廃止し、「マイナ保険証」としたマイナンバーカードに統一する決定に沿った変更であり、被保険者の安心の糧であった「被保険証」が令和 6 年 12 月 2 日以降廃止されることによる変更であります。

政府は、カードを取得されていない被保険者に対し改正案の第 4 条関係の 2 に「資格確認書等」の引き渡しとなっていますが、確認書は本人申請により発行されるものであり、有効期限も最長 1 年であり、期限が切れた場合に自動更新されるかも未定という状況で多くの方が不安を感じています。

さらに、マイナンバーカードは任意による申請ですが、マイナンバーカードと電子証明は期限が来るたびに申請しなければならないため、入院中、施設入所、要介護の方が申請をしていなかった場合、公的医療保険に加入しているのに「無保険」者が多数生まれる危険性があります。

さらに、施設側でも全日本民医連が行った高齢者、介護施設向けのアンケート（1,219 施設が回答）では、84% の施設が利用者・入所者の健康保険証を管理していると回答、うち 94% が、資格確認証がマイナンバーカードだけになった際に管理できるかという問いに、「できない」と答えています。その理由としては、「カード・暗証番号の管理が困難」83%、「不正利用、情報漏洩への懸念」73%、などがあげられているように、施設側としても様々な情報が紐づけされているカードの管理に責任を持っていないと意思表示しています。

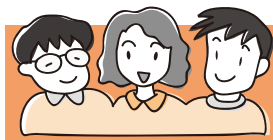
ますます、高齢化が進み老老世帯や独居老人世帯が増えている下で、市民に新たな不安与える、無保険者を生み出す危険性がある後期高齢者の保険証の廃止に賛成をすることは出来ないという事を述べて、反対討論とします。

意見書第 2 号

意見書名：厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

議案番号	議決結果	野副芳昭	平山文也	吉田守	大野秋人	末次勝	増田紀之	徳川博人	副島英樹	服巻玉美	中野均	野口英樹	白石昌利	原口ひさよ	田原和幸	木原憲治	永沼彰	福田清道	佐藤知美
意見書第 2 号	賛成多数		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

野副芳昭議員は議長のため採決に加わっていません。



神埼市民の願いを意見書にして国に届ける

〈意見書第 1 号〉

少人数学級・教職員定数の改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、教職員定数の改善等が不可欠です。

2021年の法改正により、小学校の学級編制標準は段階的に35人に引き下げられ、計画通りに進捗すれば、25年度に完了となります。今後は、小学校に留まることなく、中学校・高等学校での早期実施と、きめ細かい教育活動をすすめるために、さらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。一方、厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もありますが、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題です。義務教育費国庫負担制度については、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。ゆたかな子どもの学びを保障するための条件整備は不可欠です。

よって、国会及び政府におかれましては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる学級編制標準の引き下げについて検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、教職員定数を改善して教員の持ち授業時数を削減し、時間外勤務手当の支給を行うこと。
3. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に引き上げること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

令和 6 年 6 月 28 日

佐賀県神埼市議会

衆議院議長	額賀福志郎 殿	財務大臣	鈴木俊一 殿
参議院議長	尾辻秀久 殿	総務大臣	松本剛明 殿
内閣総理大臣	岸田文雄 殿	文部科学大臣	盛山正仁 殿

〈意見書第 2 号〉

厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

地方分権及び地方創生の進展とともに、加速する人口減少社会への対応が、我が国の将来にとって喫緊の政治課題となっている。地方公共団体の重要な意思決定を行う地方議会は、多様化する民意の集約と地方行政への反映が期待されており、その果たすべき役割と責任は重要性を増している。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民とのコミュニケーションを深めるとともに、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。このような活動範囲の広がりに伴い、近年においては議員の専門化が進んでいる。

一方、今日では、就業者の 9 割を会社員等の被用者が占めており、地方議会議員のなり手も会社員等からの転身者が期待されている。

地方議会議員が厚生年金に加入できるようになれば、会社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、家族の将来や老後の生活を心配することなく議員に立候補し、議員活動を続けることができる環境が整うことになる。多様で有為な人材の確保に大きく寄与すると考えられる。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出いたします。

令和 6 年 6 月 28 日

佐賀県神崎市議会

衆議院議長	額賀福志郎 殿	総務大臣	松本剛明 殿
参議院議長	尾辻秀久 殿	財務大臣	鈴木俊一 殿
内閣総理大臣	岸田文雄 殿	厚生労働大臣	武見敬三 殿
内閣官房長官	林芳正 殿		

〈意見書第 3 号〉

地方財政の充実・強化に関する意見書

いま、地方公共団体には、急激な少子・高齢化にともなう社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、感染症対策、DX 化、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたり新たな役割が求められています。加えて、急激に進められている自治体システムの標準化や多発化する大規模災害への対応も迫られる中、地域公共サービスを担う人員は圧倒的に不足しており、職場における疲弊感は日々深刻化しています。

政府はこれまで「骨太方針 2021」に基づき、2021 年度の地方一般財源水準を 2024 年度まで確保することとしてきました。しかし、増大する行政需要また不足する人員体制に鑑みれば、今後はより積極的な財源確保が求められます。

このため、2025 年度政府予算また地方財政の検討にあたっては、現行の地方一般財源水準の確保から一歩踏みだし、日本全体として求められている賃上げ基調に相応する人件費の確保まで含めた地方財政を実現するよう、以下の事項を求めます。

（次ページへ続く）

（前ページからの続き）

記

1. 社会保障の充実、地域活性化、D X 化、脱炭素化、物価高騰対策、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視しつつ、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実をはかること。
2. とりわけ、子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、より高まりつつある社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、引き続き、地方単独事業分も含めた、十分な社会保障経費の拡充をはかること。とくに、これらの分野を支える人材確保にむけた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。
3. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正にむけては、所得税や偏在性がより小さい消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
4. 政府が減税政策を行う場合、地方財政に影響が出ないように、その財源は必ず保障すること。その際は、「国と地方の協議の場」を活用するなどし、特段の配慮を行うこと。
5. 「地方創生推進費」として確保されている 1 兆円については、現行の財政需要において不可欠な規模となっていることから、恒久的財源としてより明確に位置付けること。また、その一部において導入されている行革努力や取組の成果に応じた算定方法は、標準的な行政水準を保障するという地方交付税制度の趣旨に反することから、今後採用しないこと。
6. 会計年度任用職員においては 2024 年度から勤勉手当の支給が可能となったものの、今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き、その財政需要を十分に満たすこと。
7. 特別交付税の配分にあたり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取り扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。とりわけ地域手当については、全国で同様の職務を担っているにもかかわらず、支給割合に 0～20% もの大きな格差が生じていること、近隣自治体間における支給割合の差により人材確保上の困難が生じていることから、自治体の自己決定権を尊重し、特別交付税の減額措置を廃止すること。
8. 自治体業務システムの標準化・共通化にむけては、その移行に係る経費と、移行の影響を受けるシステムの改修経費まで含め、デジタル基盤改革支援補助金を拡充するなど、引き続き必要な財源を保障すること。また、戸籍等への記載事項における「氏名の振り仮名」の追加など、D X 化にともない地方においてシステム改修や事務負担の増大が想定される際は、十分な財政支援を行うこと。
9. 地域の活性化にむけて、その存在意義が改めて重視されている地域公共交通について、公共交通専任担当者の確保を支援するとともに、こども・子育て政策と同様、普通交付税の個別算定項目に位置付け、一層の施策充実をはかること。
10. 人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、段階補正を拡充するなど、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

令和 6 年 6 月 28 日

佐賀県神崎市議会

衆議院議長	額賀 福志郎 殿	厚生労働大臣	武見 敬三 殿
参議院議長	尾辻 秀久 殿	国土交通大臣	斉藤 鉄夫 殿
内閣総理大臣	岸田 文雄 殿	デジタル大臣	河野 太郎 殿
財務大臣	鈴木 俊一 殿	内閣府特命担当大臣	加藤 鮎子 殿
総務大臣	松本 剛明 殿		

議会改革検討特別委員会の活動報告

委員長 平山 文也

去る5月14日に特別委員会を開催し、野副委員長の辞任を許可し、新たに委員長に私、平山、副委員長に木原憲治議員が選出されました。

次に6月26日に開催した特別委員会においては、第1分科会、第2分科会の調査・研究経過、それぞれ経過報告を行い、委員全員で確認を行いました。また、議会報告会・意見交換会について、運営会議の報告を受けております。

まず、第1分科会では、ICT化の推進に伴い導入する端末については、画面の大きさ、セキュリティが比較的強固であることや会議システムについて、他市議会への視察内容等を踏まえ、今後活用していくうえでの機能等が確認されております。

第2分科会では、総括質疑の在り方、通告制の導入など引き続き検討していくことで確認がされております。

議会報告会、意見交換会



▲議会改革検討特別委員会の様子

については、各常任委員会代表6名で構成する運営会議を開催し、昨年参加の方々のアンケート結果等を踏まえ、11月1日、2日及び10日の3日間にかけて3班体制で市内各小学校毎に開催を予定し、多くの皆様に参加していただく準備を進めております。

本特別委員会では、市民に分かりやすく、より一層「開かれた議会」を目指すために随時、分科会及び特別委員会を開催し、調査検討を重ねてまいります。

行政監視機能強化検討特別委員会の活動報告

委員長 中野 均

本委員会は、ふるさと納税PR強化事業を巡る情報漏えい事件に関し、議会として市政監視機関としての責任を踏まえ本年3月18日に全議員で行政監視機能強化検討特別委員会を設置し、計6回の会議を開催、調査研究を行ってまいりました。

調査研究を行ってまいりましたので、結果を報告します。主な内容は、再発防止策や職員の内部通報制度の充実などを提言しております。

執行部への提言として再発防止に向けた「公募型プロポーザルガイドライン」作成や企画提案書などの慎重な取り扱いに関すること。

市の事務事業に関する法令違反や不当な事実を知った職員の内部通報制度や外部相談窓口の設置を提言。

さらに、安易な随意契約や入札会のやり直しなどの特別な事情が存在する案件は、入札結果表に当該事項を記載等の措置を講ずること。また、議決事件となら

ない契約の締結についても議会に報告を求める。その他土地開発公社の事業執行状況等については、適宜、説明を行うこと。

議会自らの改善事項については、原則として職員執務室内に立ち入らないこと。議員の知識向上のため、財政研修会等の実施や各種セミナーへの参加により審査能力の向上を図ること。

以上行政監視機能強化検討特別委員会の調査報告として議長に6月3日に提出しました。



▲報告書を議長へ提出



松永 勝 議員

市内クリークの整備の考えについて



議員 農業用クリークにおいて木柵の劣化等の原因により、法面や道路に穴が空き危険な状況が発生しているが、市としての対応について伺う。

松永農林水産担当理事

現在、市の管理施設となっており、緊急性を考



陸地化となった集落内のクリーク（中津地区）

議員 内水氾濫対策のための多面的機能を持つ集落内のクリーク整備について、市としてのどのような施策を実施したのか伺う。

農林水産担当理事 集落内のクリーク整備に取り組むためには、財源の確保と計画的な事業進捗を図ることが必要である。事業化については、国庫補助事業である農村振興総合整備事業を財源として整備に取り組む計画とする。

議員 内水氾濫の被害がある地区から整備を優先すべきと考えるが、千代田町中津地区の千歳樋管周辺のクリーク整備は、農村振興総合整備事業で実施できるのか。

農林水産担当理事 農村振興総合整備事業については、農村振興の総合的な視点にたち、農業生産基盤の整備のみならず、必要とされる生活環境の整備を総合的に整理し実施する事業となっている。千代田町中津地区のクリーク整備については本事業で整備を行いたいと考える。



木原 憲治 議員

学校図書館の充実と学校司書の在り方について



してどのように活用されたのか。

平山教育部長

本市において小学校 7 校の平均図書購入費は 50 万 8 千円で

平均年間図書購入冊数は 302 冊、中学校 3 校では平均図書購入費が 85 万

4 千円、平均図書購入冊数は 443 冊と全国平均を上回っている。今後も

地方交付税措置という国の支援があることを認識し、有意義に学校図書館

を利用できる環境の整備および充実をめたい。

議員 各小中学校において、ICT（情報通信技術）の推進とともに、子どもの読解力を高め、思考力と豊かな感受性を営むにもじつくりと活字に向かうことが大切で、その為にも学校図書館を充実させることが大事であり、学校司書の役割が非常に重要視されている。そこで国では、第 5 次学校図書館図書整備等 5 ヶ年計画が 2017 年から 2021 年の間で、総額 2,350 億円が財政措置され、図書購入費として 1,100 億円、単年度で 220 億円が地方交付税交付金として自治体に交付されたが、本市と

議員 学校司書に関する調査では、自治体間で配置に大きく差がある様だが本市での状況はどうなっているのか。

教育部長

全国の司書配置の割合は小学校で 69・1%、中学校で 65・9%

と、学校司書配置の必要性は強く認識され、本市においても会計年度任用職員を各学校に 1 名ずつ

配置し、担任や図書館担当の教諭と連携・協力し、円滑な学校図書館運営を行っている。



学校図書の整備が着々と進められている

一般質問

神埼市議会だより 第69号（令和6年6月定例会）

議員 私はこれまで、学校給食の完全無償化実現を求める質問を機会あるごとに行ってきたが、私は、子育て世代、特に小・中学生の保護者への財政的支援充実が市の重要な政策の柱であると考えている。

給食費の無償化については保護者の強い要望があり、歴代市長のもと、無償化について、中学3年、小学6年、それ以外の学年には月1,000円の補助を現在実施してきている。これは県内十市の中ではトップクラスであるといえ、實松市長に小・中学校給食費完全無償化実施を求める。



福岡 清道 議員

学校給食の完全無償化を求める



平山教育部長 給食費完全無償化を実施した場合、年約1億3千万の経費が必要となる。これはすべて市の一般財源であり、市の行政のあらゆる部署で子ども・子育ての支援を目的とした施策を実施してきている。給食費助成については、他の子育て支援、教育施策との兼ね合いを考慮し引き続き調査研究を進めていく。

議員 市長の考えは。

市長 学校給食の助成については県内トップクラスにあると思っている。そこでまず優先施策は、市民の安全・安心のためのまちづくりの推進、特に災害対策と考えている。給食費完全無償化は現在のところ考えていない。



給食センター（アレルギー食調理室）

議員 神埼市では、市民へ市政情報を積極的に提供する手段、方法は現在どのようなものがあるか。

また、記者会見やプレスリリースを実施する場合や各報道機関からの取材対応を受ける場合の事務処理手順はどのようになっているか。

中島総務企画部長 本市における市政情報の発信手段については、市報かんざきや公式ホームページをはじめとした各種広報媒体の活用によって情報発信に努めている。今後は社会環境の変化に対応した新たな情報発信の手段を検討していく必要があると考えている。



大野 秋人 議員

報道機関との連携で広報の強化を

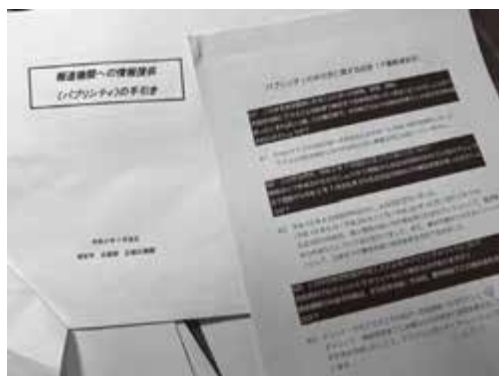


また、プレスリリースや記者会見を実施する際は、その都度所管課において協議し、管理職または市長の承認を受けて実施しており、各報道機関からの取材対応については原則、管理職が対応することとしている。

議員 パブリシティで重要なポイントは、市政情報を報道機関の方々に興味や関心を持っていただき、記事やニュースにしろもらうことで経費がからず迅速かつ広範囲な

市政情報の広報が実現すると考えるがその点はどうに考えるか。

山田総務課長 現在、九年庵の一般公開前に実施しているメディア向けの内覧会のように、事前に報道機関の方々を招待したPRイベントの実施などはとても有効であると認識している。今後も積極的な対応や情報提供、対面での関係づくりを心掛け、より効果的なパブリシティ活動に努めていきたい。



参考にした千葉県浦安市の資料



雑草が繁茂する歩道

議員 市内の通学路には、雑草が生い茂っている状態であるが、市の対応について質問する。

嶋産業建設部長 通学路を含む国道、県道の雑草



野回 英樹 議員

雑草がない通学路にしてください



伐採については、各道路管理者にて行っていたにしている。路線ごとに雑草伐採についての業務委託をされており、年間 2 回、雑草伐採を実施されている。その他、校区からの連絡や要望があった際は現地を確認し、状況に応じてできる限り対応をされている。市道の雑草伐採については、車両や歩行者の安全な通行を目的として、国が実施される 1 回目と 2 回目の中間時期にもう 1 回実施をしている。また、地区や学校からの連絡や要望があった際に、状況に応じて道路作業員さんなどによる雑草伐採の対応を行っている。

水害対策

議員 地区内の冠水によって個人宅では、小屋や倉庫も水の浸水被害が発生している。市として、浸水防止対策に対して補助はできないのか。

中島総務企画部長 本市では、災害により、家屋の全壊、半壊、床上浸水など、一定の要件を満たす世帯に対する見舞金や税金の軽減、または減免を受けられる制度はある。浸水防止対策に対する市の補助制度はないが、今後、県や他の市町村の状況を調査し、費用や課題についても研究してまいりたいと考えている。



増田 紀之 議員

横落水路整備について



てくる危険性も十分あるため緊急性を持って速やかに対応する。水路整備については、重要性は十分に把握しており、令和 7 年度から事業着手により早期な水路整備を行う。

交差点の安全対策について

議員 県道佐賀川久保・鳥栖線と市道日の隈公園・唐香原の三差路は、横断歩道がない道路を学



横落水路倒壊寸前的大木

議員 水路内の小水門の破壊、大木倒壊の危険、越水による民家塀の被害も出ているが、早急の対応を求める。

松永農林水産担当理事 大木が家屋や道路に倒れ

生や職員が毎日 300 名程度渡りコンビニを利用しているが、信号機及び横断歩道の設置はできないか。

朝日防災危機管理課長 県道川久保・鳥栖線を西から東へ通る際、下り坂であり、追突の危険があるため信号機設置は難しいとの事である。

議員 危険であればカーブの手前に予告信号を設置してあるのを各地で見かけるが、そのような措置はできないか。

防災危機管理課長 カーブの手前に予告信号機を設置する事については追突事故防止に大変有効と考えられる。また、横断歩道設置に関しても歩行者の通行量を再度調査したうえで改めて警察と協議を行う。

新神崎市長の DXに対する思い



である。

DX化により業務の効

率化とか、システムを組

むことで住民サービスの

向上をしていくことが非

常に大事であると思う。

さらに、いろいろな産業

への適応により神崎市の

発展のきっかけとなれば

と思い「スマート神崎」

というネーミングで神崎

市のDX化を進めたいと

思う。

報の取扱い方だと思っ

特に公的機関において個

人情報が漏れることは、

個人のみならず集団の情

報に係わってくることに

思われるが、セキュリティ

ティー対策はどう考えて

いるのか。

音成企画課長 従来のア

ナログでは起きなかった

サイバー攻撃の対象とな

る。オンライン化推進に

おいて、安全・安心に加

え、適切なオンラインシ

ステムを利用してセキュ

リティレベルを高めて

いく。



佐藤 知美 議員

市長の市政運営の考えと 推進方向性について



対談をするなかで活力を
見出していると感じてい
るか。

市長 管理職の皆さんが
私に対し一定の期待を持
つていただいているのは
は伝わってきた。

将来の神崎市をイメー
ジして事業をやっていく
うえで、もう一歩踏み込
んで、これから変えるた
めに何が必要かという事
を考えてほしいと伝えて
いる。

議員 市長の答弁で、職
員が元気がない、活力を
見いだすことができない
ということ述べられた
が、私は職員の活力を引

き出す手段として、職場

環境や、施策立案など自

由に意見を言える環境づ

くりが必要と思うが。

山田総務課長 市では平

成 20 年度より、市政に対

する職員の政策形成能力

の向上を目的として、職

員提案制度を実施してお

り、103 件の提案を受

けている。

議員 質問を通じて感じ

ているのは、市長がコミュ

ニケーションを通じて人

の輪を形成したいとい

う、人柄が伝わってきた。

職員がワンチームで信頼

回復に努めて頂きたい。



コミュニケーションを図りながら信頼回復に向け頑張る職員

議員 新市長は所信表明
演説で「神崎市のDX(デ
ジタル・トランスフォー
メーション)に言及され
たが、どのような考えな
のか。

市長 デジタル技術を活

用することで、人口減少、

高齢化といったいろいろ

な課題に対応していくこ

とが将来の神崎市の発展

になくはならないもの

議員 DX化により、行
政手続きのオンライン
化、A ー化することで一
番問題となるのは個人情報

議員 市民の心に寄り添って「全ては市民のために」、市長が市政課題に取り組むミッション「やるべきこと」については、行政サービスなど前例や現行制度だけではなく、常に市民の本質的なニーズに立ち返っての検討及び、取り組みが必要である。路線バス「江見線」廃止の申し入れについては、廃止は来年10月1日予定の見通しで、今年10月1日からは運行回数は、ほぼ半分に予定と聞く。市内高齢化が進み、交通弱者の数が増えれば、地域の移動手段の確保を求める声、必要性はより増し



「市民のために」市長がやるべきこと



ていく。路線（江見線）が現在どのような状況にあるかの実態を正確に把握した上で、必要な路線を守るための創意工夫をどのようにして引き出すか、そして地域全体で知恵を絞ることが急務である。持続的な運行存続に向けての協議も必要と思うが市の考えを伺う。

はバス利用をしていた。バスの運行をお願いするのであれば乗るのが一番大事である。バス事業者の判断は、乗務員不足や働き方改革など複合的な要因を背景に苦渋の決断をされたと承知している。仮に江見線廃止となっても市民が困ることが無いように、代替の移動手段の確保も含め関係機関で協議しながら対策を講じていきたい。



地域住人に親しまれる路線バス（江見線）

議員 現在までに、市内で、道の駅構想について検討されたのか。

嶋産業建設部長 市有地の活用方法のアンケート等でも、道の駅を設置してほしいという意見もあったが、具体的な検討、協議にまでは至っていない。

議員 道の駅は産業振興、避難所、食料備蓄、情報発信等多くの利活用ができると考えられるが、市長の考えは。

市長 これまでの遊学館・高取山公園等の取り組みも、一定の効果はあったと認識しているが、改めて市の発展のために、検討・研究してみたい。



道の駅構想について



食料・農業・農村基本法について

議員 食料・農業・農村基本法の施行後、市としての取り組みは。

松永農林水産担当理事

本市としても、高齢化・担い手不足などに対応するため、スマート農業の推進・環境負荷低減等の取り組みを進めていく。

議員 環境負荷低減クロスコンプライアンスの取

り組みは。

農林水産担当理事

令和6年度より、農業生産の点検シートが見直されるので、様々な機会で解説資料を配布し、周知を図っていく。

議員 市民一人一人の食料危機管理はどう対応するのか。

中島総務企画部長 本市では、神崎市地域防災計画の中で、食料等の供給計画を定めている。



一般質問

神埼市議会だより 第69号（令和6年6月定例会）

野中建設課長 令和5年度は道路側溝更新、水路護岸整備、舗装の打ち替

議員 市道・農道の維持管理の実態は。
嶋産業建設部長 市道総延長約510km橋梁762橋。維持管理における市道の劣化状況の把握は、担当課職員・業者による道路パトロール、市民・区長からの情報、昨年9月より郵便事業者・タクシー事業者と情報提供に関する協定を締結し維持管理に努めている。



市道・農道の維持管理の実態は

え計25ヶ所。令和6年度は6月補正予算分を含めて、道路側溝の更新、水路護岸整備など6ヶ所。劣化した舗装の打ち替え工事16ヶ所を計画している。

田中都市計画課長 市民

旧庁舎跡地利活用について

議員 住民ワークショップでどのような意見交換を行ったか伺う。

田中都市計画課長 市民や関係団体より34名参加され、第1回の令和5年8月開催では跡地のコンセプトをテーマに、第2回開催では使い方をテーマに、必要な機能施設について。第3回はレイアウト及び維持管理をテーマに、供用後の有効利用、市民と行政による役割分担について意見交換を行った。



旧庁舎跡地利活用ワークショップ

松永農林水産担当理事 主にクリークの事前排水・農業用ため池の低水管理・田んぼダムの取組。クリークの洪水調整機能維持回復事業として、国営総合農地防災事業・県営クリーク防災機能保全対策事業・農業基盤整備促進事業を行う。

議員 令和6年1月24日に、千代田東部18地区区長により、水害対策・流域治水を目的とした千代田東部地区水害対策協議会が設立された。今後神埼市と協力し流域治水を行う上で、神埼市の令和6年度の水害対策計画をハード・ソフト両面から伺う。



上流から下流域全体で取り組む水害対策

嶋産業建設部長 排水ポンプ車による排水。河川の浚渫護岸工事にて排水能力向上を図る。令和6年度、尾崎川・留浪川・三本松川を計画。

議員 千代田東部地区上流である吉野ヶ里町・神埼市の田んぼダム取組面積及び貯留効果は。

實本農政水産課長 神埼市約774ha、吉野ヶ里町176ha合計950ha。田んぼに10cmの調整

板設置により神埼市で、約77万4千㎡、吉野ヶ里町で約17万6千㎡、併せて約95万㎡の一時貯留効果があった。

議員 田んぼダム・クリーク事前排水の他にはないか。

農政水産課長 国営三田川線、県営浮島線の既存水門の遠隔操作での水量適正化実証実験が業者により実施。



田んぼダム調整板

議員 研究・検討してい

議員 研究・検討してい

議員 研究・検討してい



中野 均 議員

千代田町東部地区の人口減少対策は



長崎街道神埼宿観光拠点づくりの事業について

るだけでは進まないの
で、例えば、旧脊振村で
は100円宅地分譲もあり、
このような方法も行動の
一つと思うが、市長は
どう考えるのか。

市長 私の感覚として、
東部地区の人口減少対策
は、これまで積極的に取
組みがなされてないと思
う。関係課と若手職員プ
ロジェクトチームの報告
を受けていないので、こ
れまでの議論経過を踏ま
えて、行政として前に進
めていく。

議員 当初予算で委託料
が2,000万円計上さ
れているが、地域の産官
金によるエリア観光推進
の調査報告書を見れば、
事業成功を図ることは大
変厳しいと感じるが、市
長は今後、どう進めてい
くのか。

市長 事業の実効性・継
続性があるか、一旦立ち
止まって事実確認して判
断したい。



観光推進を検討している旧長崎街道

議会の動き（令和6年4月～6月）

4月3日 議会広報編集特別委員会
9日 議会改革検討特別委員会第1分科会
11日 行政監視機能強化検討特別委員会
16日 議会広報編集特別委員会
25日 九州市議会議長会第99回定期総会
26日 議会広報編集特別委員会
5月7日 令和6年5月第2回神崎市議会臨時会
9日 議会広報編集特別委員会
10日 防衛省全国市情報施設協議会役員会
13日 行政監視機能強化検討特別委員会
14日 議会改革検討特別委員会
17日 議会改革検討特別委員会第1分科会
21日 全国市議会議長会第100回定期総会
24日 産業建設常任委員会
29日 総務常任委員会
文教厚生常任委員会

6月3日 行政監視機能強化検討特別委員会
全員協議会
4日 議会運営委員会
6月7日～6月28日 令和6年6月第3回神崎市議会定例会
7日 全員協議会
14日 議会広報編集特別委員会
17日 議会運営委員会
21日 令和6年度予算特別委員会
24日 産業建設常任委員会
総務常任委員会
25日 文教厚生常任委員会
議会改革検討特別委員会第1分科会
26日 議会改革検討特別委員会
議会運営委員会
27日 全員協議会
28日 全員協議会



直接意見を交わすことで、神崎市議会を身近に感じてもらう機会になればと考えていますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日 時	小学校区	会 場
11月1日（金） 19：00～20：30	神埼小学校区	J Aさが神埼営農経済センター2階
	西郷小学校区	姉川上分公民館
	千代田西部小学校区	原の町公民館
11月2日（土） 19：00～20：30	千代田中部小学校区	下直鳥公民館
	千代田東部小学校区	千代田町東部地区生きがいセンター
11月10日（日） 10：00～11：30	脊振小学校区	脊振交流センター 3階 大会議室
	仁比山小学校区	朝日公民館

※お住まいの地域以外でも自由にお越しください。

全国市議会議長会表彰

去る5月22日に開催されました「第100回
全国市議会議長会定期総会」において、市政
発展に寄与された功労者として、全国市議会
議長会 会長から議員在職25年以上表彰とし
て、佐藤知美議員、福田清道議員が表彰され
ました。また、正副議長4年表彰として、田
原和幸議員が表彰されました。神崎市議会議
場にて表彰伝達式を行いました。



▲表彰式の様子

市議会・議会だよりに対するご感想をお聞かせください。また、読んでみたい企画があればお書きください。

[illegible]

※いただいたご意見については、今後の参考とさせていただくほか、
議会だよりの紙面で紹介することがあります。
※紙面で紹介する際は内容を変えない範囲で添削させていただくこ
とがあります。ご了承ください。
※個人情報、目的以外では使用しません。

議員紹介コーナー

議会だより 64 号でのご意見募集にて、「議員のプロフィールを紹介することで、より議会を身近に感じられると思う」というご意見があったことから、委員会で検討し、議員の紹介コーナーを設けました。今回は、議席番号 1～6 番議員を掲載します。



【氏名】 吉田 守
【期数】 2 期
【趣味】 読書
【校区】 神埼小校区
【メッセージ】

新たな発想で旧態依然とした社会を変えていきたい。



【氏名】 大野 秋人
【期数】 1 期
【趣味】 古い機械の手入れ
【校区】 仁比山小校区
【メッセージ】

不器用ですが何事も本来の目的や物事の本質を大切にしています。



【氏名】 末次 勝
【期数】 1 期
【趣味】 パワースポット巡り、ゴルフ
【校区】 千代田西部小校区
【メッセージ】

『幸せつなごうかんざき』市民が幸せを感じるまちづくりを目指します。



【氏名】 増田 紀之
【期数】 1 期
【趣味】 磯釣り、日曜大工
【校区】 西郷小校区
【メッセージ】

市民や地域の声を聴き、動き、動き、更に動き、働く。



【氏名】 徳川 博人
【期数】 1 期
【趣味】 ものづくり（DIY）
【校区】 仁比山小校区
【メッセージ】

住んで良かった、「かんざき」になるために行動します。



【氏名】 副島 英樹
【期数】 1 期
【趣味】 家庭菜園、釣り
【校区】 千代田東部小校区
【メッセージ】

市民が安心して心豊かに暮らせるまちづくりをめざします。

選挙後 2 年がたち後期の 2 年間の議会体制が決まりました。この 2 年間も市民のみなさんに、どの様にしたら手に取ってもらえるか、関心を持ってもらえるか、広報委員それぞれが工夫し他市の良いところを参考にしながら、事務局の知恵も借りながら試行錯誤を繰り返してきました。まだ字数が多いという感じも持っていますが、市民のみなさんに議会の事実に基づいて報告をするためにはどうしても必要な事だとも思っています。今回のあやとりからは、新たな取り組みとして議員紹介のコーナーを設けました。写真については議員の人物を表すようなものをと要請をしました。また、これから 2 年間さらに市民のみなさんから議会だよりが「読みやすくなったね、変わってきたよね」と言ってもらえるよう委員会全体で努力をさせていただきます。

市民の皆さんの、「ここはこうしたら読みやすくなるよ」「こんな記事を載せたら」などの声もお寄せください。

（記 佐藤 知美）

編集後記

議会広報編集特別委員会

委員長	佐藤 知美	委員	副島 英樹
副委員長	末次 勝	委員	徳川 博人
委員	田原 和幸	委員	大野 秋人



差出有効期間
令和 7 年 3 月 31 日まで
(切手を貼らずにお出しください)

郵便はがき

8 4 2 - 8 7 9 0

（受取人）

神崎市神埼町鶴 3542 番地 1

神崎市役所 議会事務局
議会広報編集特別委員会 行
（神崎市議会だより第 69 号 2024. 8 月号）



ふりがな
ご氏名

□□□-□□□□

ご住所

お電話番号 () - () - ()